



## 第64回春季日本歯周病学会学術大会

会期:2021年5月21日(金)～6月22日(火)

会場:WEB開催

大会長:八重柏 隆 先生(岩手医科大学歯学部 歯科保存学講座歯周療法学分野 教授)

### 共催セミナーⅦ

# リグロス<sup>®</sup>を通して見える 歯周組織再生療法の奥ゆかしさ

～リグロス<sup>®</sup>の効果を最大限に引き出すために～

座長

日本大学松戸歯学部 歯周治療学講座 教授

**小方 頼昌** 先生

演者

高山歯科医院 院長

**高山 真一** 先生

LIVE配信

学会2日目

2021年**5月22**日(土) 15:00▶15:50

視聴方法

ホームページより事前参加登録の上で視聴ください。

事前参加登録はこちら▶ 第64回春季日本歯周病学会学術大会HP

第64回春季日本歯周病学会学術大会

検索

<http://web.apollon.nta.co.jp/jsps64/sanka.html>



※本セミナーのオンデマンド配信は予定していません。

5月22日(土)15:00からのライブ配信のご視聴をよろしくお願いいたします。

# リグロス®を通して見える 歯周組織再生療法の奥ゆかしさ ～リグロス®の効果を最大限に引き出すために～

高山歯科医院 院長 高山 真一 先生

**ご略歴** 1990年 大阪大学歯学部卒業  
1990年 大阪大学大学院歯学研究科口腔治療学教室在籍  
1999年 大阪大学大学院歯学研究科助教  
2002年 高山歯科医院開設  
2018年 大阪大学大学院歯学研究科臨床准教授  
日本歯周病学会専門医・指導医、大阪大学歯学博士



2016年冬から歯科臨床に登場した組換え型ヒトFGF-2(塩基性線維芽細胞成長因子: bFGF)を有効成分とする世界初の歯周組織再生医薬品リグロス®。おおよそ4年間にわたって多くの先生方が使用され、これまで数多くの臨床例が報告されてきました。すばらしい臨床家の先生たちが報告されたこれらの症例を目の当たりにしたときの驚きは、最初に行ったビーグル犬での動物実験で術後リエントリーを行ったときの新生骨の形成に目を丸くした当時の感動とまったく同じものです。

しかしながら、同じように歯周外科処置を行いリグロス®を用いてもその結果はさまざまであり、予知性、確実性が高くないことは歯周組織再生療法の課題だとも言えます。これまで私一人が行える臨床例は少ないながら、どのような点に着目してリグロス®の予知性を感じているか、またどのような点に注意を払って施術しているかを中心に今回のセミナーではお話しさせていただきます。

Dr.Nymanらによって最初に開発されたGTR法(guided tissue regeneration)が登場したのが1982年、まもなく歯周組織再生療法が登場して40年が経とうとしています。まだまだ、不思議なことが多く残っている歯周組織再生療法の世界。まだ解明されていない事象が残されているからこそ、今後の発展も期待されます。歯周組織再生療法は科学の力を借りて今後もグレードアップされていくと想像します。

現時点では、まだ課題が残されている再生療法ですが、そのような欠点を有していることが最近私には奥ゆかしく感じられています。この課題が残されている部分であるすき間を埋めるためには、まさに患者さまとわれわれ医療従事者との関わり合いが必要であり、そのような部分が非科学的ではありますが、本当の医療を行っている部分なのかと実感しています。今回限られた時間の中ではありますが、視聴されている皆さまと歯周組織再生療法の奥ゆかしさを共有したいと考えております。本セミナーが、多くの歯科臨床家と研究者の協力を通してこの再生療法の分野が今後も益々進展してゆく契機になれば幸いです。

## Drug Information

●詳細は添付文書をご参照ください。「禁忌を含む使用上の注意」の改訂に十分ご留意ください。

### 【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

1. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
2. 口腔内に悪性腫瘍のある患者又はその既往歴のある患者  
[本剤が細胞増殖促進作用を有するため]

【効能・効果】 歯周炎による歯槽骨の欠損

#### 〈効能・効果に関連する使用上の注意〉

1. 本剤は、歯周ポケットの深さが4mm以上、骨欠損の深さが3mm以上の垂直性骨欠損がある場合に使用すること。
2. 本剤は、インプラント治療に関する有効性及び安全性は確立していない。

【用法・用量】 歯肉剥離掻爬手術時に歯槽骨欠損部を満たす量を塗布する。

#### 〈用法・用量に関連する使用上の注意〉

本剤の使用にあたっては【臨床成績】の項を参照し適切な量を用いること。

【承認条件】 医薬品リスク管理計画を策定の上、適切に実施すること。

### 【使用上の注意】<抜粋>

#### 1. 重要な基本的注意

- (1)本剤は歯周外科手術の経験のある歯科医師又は医師が使用すること。
- (2)術後に歯肉弁の著しい陥凹を生じると予想される骨欠損部位に対しては、他の適切な治療法を考慮すること。

#### 2. 副作用

本剤が投与された安全性評価対象症例429例中3例(0.7%)に副作用が認められた。その内訳は、適用部位における歯肉白色化、歯肉紅斑、歯肉腫脹および頭痛が各1例(0.2%)であった。臨床検査値異常は429例中51例(11.9%)に認められ、その主なものは尿中アルブミン陽性27例(6.3%)、尿中β<sub>2</sub>ミクログロブリン上昇17例(4.0%)、尿中NAG上昇16例(3.7%)、CRP上昇6例(1.4%)等であった。

分類	頻度	1%以上	1%未満	頻度不明
適用部位および適用部位近傍			歯肉白色化、歯肉紅斑、歯肉腫脹	硬結、肥厚
精神神経系			頭痛	
臨床検査		尿中アルブミン陽性、尿中β <sub>2</sub> ミクログロブリン上昇、尿中NAG上昇、CRP上昇	AST(GOT)上昇、ビリルビン上昇、CK(CPK)上昇、ALT(GPT)上昇、LDH上昇、尿糖陽性、リンパ球増多、好中球減少、単球増多、白血球減少、総蛋白上昇	

●その他の使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

歯周組織再生剤  
**リグロス®** 歯科用液キット 600μg/1200μg  
REGROTH® Dental Kit 600μg/1200μg トラフェルミン(遺伝子組換え) 製剤  
処方箋医薬品(注意-医師等の処方箋により使用すること)

薬価基準収載

製造販売元  
〔文献請求先〕



科研製薬株式会社  
東京都文京区本駒込2丁目28-8  
医薬品情報サービス室

2021年2月改訂(第5版)